

館長室 ◆ ようこそ 29

『あなたの哲学』

図書館長 古川 聡

大学入試に落ちて浪人生活を送り始めた時、書店で購入したのが『あなたの哲学』(山崎正一・成川武夫著、学生社、1961年)という本であった。とくに哲学科を目指していたわけではない。完璧なモラトリアムをしており、まじめに予備校に通って勉強するのではなく、毎日、新宿や原宿を徘徊していた。そしてある日、神保町の書店を歩き回っていた時に偶然目に止まったのがこの本である。ニーチェやプラトンという哲学者の名前は知っていたが、自分とは遠い世界のものとしかとらえられなかった哲学である。だが、「あなたの哲学」となると話は違う。なぜか買ってみようと思い、明治神宮の奥にある宝物殿前の芝生に寝転がりながら読んだ思い出がある。

帯に書かれた“宇宙旅行に持って行きたい漫画入りの哲学”というキャッチフレーズに単に引かれただけでも知れない。内容は、「知る」ということ、「知る」ことを超えるもの、「生きる」ということの3章からなり、モラトリアム中の私にはどれも難解で、やはり自分とは遠い世界のことのように感じられつつも、自分の行く末について考え、答えが見つからないもどかしさにさらに悩みが深まった。

最近、私の授業を受講する学生に要望を聞くと、今なぜ国立にいるのか、なぜ大学の教員になったか、どのような大学生活を送ったか、これまでどのように生きてきたかを聞きたいという声が増えてきた。私の経歴など聞いても仕方なかろうと思うが、私が『あなたの哲学』を読んで悩んでいたのと同じ年齢である彼らも、私と同じように考え、悩み、右往左往しているのであろう。その右往左往を見守りながら支援するのも私のひとつの務めだと思う。

哲学という難しく感じられる。でも、一人一人が持っている生き方や考え方こそが哲学である。自分自身、あるいは他者に向き合う姿勢と言えるだろうか。果たして自分は真実を知っているのか、知った気になっているだけではないか、知ったことを活かしているのか、他者に還元できているのか、どのように生きてきたのか、これからどのように生きていくのか。これらの問いに答えなければならない年齢になってしまった。だが恥ずかしいことに、未だに明確に答えられない。さてみなさん、「あなたの哲学は」と問われて何と答えるだろうか。これから時間をかけて見出してほしい。

雑誌の部屋 20

「雑誌の部屋」は、当館が所蔵しているたくさんの雑誌を、もっとみなさんに手にとっていただけるよう紹介するコーナーです。

吹奏楽・管楽器専門雑誌の『バンドジャーナル』『パイパーズ』は、皆さんおなじみの事と思います。では吹奏楽の紀要についてはどう存じでしょうか。

日本管打・吹奏楽学会研究紀要

●P1631……本法人は「管打楽器分野ならびに吹奏楽分野にわたる普及・振興に関する事業を行い、もって我が国の音楽文化の発展に寄与すること」を目的として1990年設立。「日本管打・吹奏楽アカデミー賞」「日本管楽合奏コンテスト」など多彩な事業を展開している。

<http://www.jas-wind.net/>

日本吹奏楽指導者協会吹奏楽紀要

●P5555……「吹奏楽の芸術性をより高い音楽へ進化させる」べく、1967年に結成された協会。正会員612名。各委員会を設け吹奏楽のより一層の発展を目指して活動している。「吹奏楽発祥の地記念碑保存委員会」あり。

<http://www.jba-honbu.or.jp/>

*大学発行の紀要については「紀要所蔵目録」をご覧ください。

OPACでは検索できません。

